

学校名 三郷市立桜小学校
所在地 三郷市彦成4-5-16
電話 048-957-5033

1 本校の概要

本校は、三郷市内の北部三郷団地に隣接し、開校46年目の小規模校である。平成28年度は、「子どもの読書活動優秀実践校」文部科学大臣賞を受賞した。自ら本を手にする子の育成に向けて、読書環境の整備、読書の活性化、学校、地域、読書ボランティアとの連携を大切にしながら読書活動を推進している。

2 本校の実践

(1) 実践の視点

- ・読書に親しむ態度や読書習慣
- ・家庭や地域との連携

(2) 実践の概要

図書館が身近に感じられるように掲示や本の展示を工夫し、読みたい時にすぐ本が手にできるよう、図書館以外に図書コーナーを設置して、読書意欲を高める環境作りに努めている。本と出会い、ふれあう機会が多く持てるよう工夫している。

ア 全校での共通体験

毎年6月の学校公開で、全校群読集会を開催し、「言葉の力」に掲載されている詩や、物語等を学年毎に発表する。その他にも、読書ビンゴ、読書クイズや読書集会等の体験を通して感動を広げていく。



イ 桜読書賞

各学年の読書目標を設定し、それが達成できた児童は校長から表彰される。

ウ 言葉の力タイム（金曜日）

全校で共通の読書記録をつける。「言葉の力」を活用した読書活動をしている。

エ よりみち文庫

子供たちの身近な廊下や玄関に、よりみち文庫を開設している。図書の整備や掲示をボランティアの方にお願ひし、本に興味関心がもてるように創意工夫されている。



オ 桜家族読書の日（毎月第1、3金曜日）

テレビやゲームを消し20分間をめやすとして、家族で本と向かい合うようにしている。

カ 縦割りの読み聞かせ

縦割り班活動の時間に、低学年と高学年の少人数のペアで読み聞かせをした。高学年が1～2冊の絵本を選び、ペアの児童と対話しながら読ませ、低学年には感想を発表させることにより、お互いの読みを深めている。



キ 子ども司書の活動

本年度、6年生1名の児童が「子ども司書養成講座」に参加し、北部図書図書館の養成講座で学んだことを生かし読み聞かせや本の紹介の整備に活躍している。



ク 桜地球横丁

外国籍の児童が多く在籍しているので、その児童に母国語の本を読んでもらおうという趣旨で、図書館に「桜地球横丁」というコーナーを作っている。

3 成果と課題

(1) 成果

ボランティアの方の協力をいただき、図書環境の整備ができています。また、集会等の開催で児童の読書意欲も高まってきました。蔵書数も増え、読書や学習で使いたい本が使える環境が整ってきています。

(2) 課題

外国語の本の蔵書数を増やし「桜地球横丁」を充実させたい。そのため、今後は近隣の図書館とも連携していきたい。

情報発信基地としての図書館の役割がまだ不十分であるため、次年度の課題としていきたい。

4 おわりに

今後もより一層の読書環境の工夫を図り、本校の読書活動を推進していきたい。